

梯子胴木工法

梯子胴木の目的

主構造物を支持する地盤が軟弱な場合や地質や上載荷重が不均質な場合などの基礎補強とする。

主な特徴

- ▶ **構造**
 - ・ 工種名のとおり、土台木および横木を配置して、梯子（はしご）状とする。
 - ・ 木材の加工は太鼓落しを基本とする。
- ▶ **施工性**
 - ・ 部材長さ、所定位置への孔空けなど、予め工場にて加工後、現場納入されるため組立管理がしやすい。
- ▶ **機能**
 - ・ 施設の不等沈下などを防止する役目がある。
- ▶ **耐久性**
 - ・ 土中に埋没するため腐朽しにくい。
 - ・ 土台木、横木、基礎杭などの防腐処理は不要。

適用例

農業用開水路

農業用管路

擁壁工基礎

護岸工基礎

木橋橋台の基礎

谷止工の基礎

etc

多様な基礎補強へ適用が可能！



梯子胴木の構造細目

省力化



工場加工で現場の
省力化がはかれます

連続性



相欠け連結で
連続性を保ちます

補強



基礎杭（木杭）との併用で
より補強の効果が上がります

確実性



金属ボルトによる接合で
確かな連結がはかれます
※胴木の規模によりかすがい止めとなる場合もあります。

梯子胴木および基礎杭のご相談はこちらへ



株式会社 **室岡林業**

〒942-0022 新潟県上越市下荒浜393-1

TEL 025-543-6246

FAX 025-543-7226

担当者 室岡 大蔵 ・ 中村 一明

室岡林業

検索

